

高島たかしまにして作る歌つく二首うた

一六九〇番

高島たかしまの 阿渡川波あどかはなみは 騒さわけども 我われは家思いへおもふ 宿やど
りかなしみ

一六九一番

旅たびなれば 夜中よなかにわきて 照てる月つきの 高島山たかしまやまに
隠かくらく惜をしも

紀伊国きのくににして作る歌つく二首うた

一六九二番

我あが恋こふる 妹いもは逢あはさず 玉たまの浦うらに 衣片ころもかたし敷き
ひとりかも寝ねむ

一六九三番

玉たまくしげ 明あけまく惜をしき あたら夜よを 衣手離ころもでか
れて ひとりかも寝ねむ